

# 遺跡学研究

日本遺跡学会誌 第10号  
2013

特集 1

大和の世界遺産と遺跡

特集 2

「遺跡学」とは何か

研究論文

菊地 淑人

「農業に関する文化的景観保護の脅威と将来像」

－世界遺産登録地域における国際機関と締約国の認識－』

日本遺跡学会

ISSN 1349-4031

# 目 次

## グラビア

平成24年度日本遺跡学会設立10周年記念大会（奈良、平成24年11月24日・25日）

富士山の世界遺産登録	日本遺跡学会事務局	i
隠れキリスト教のふるさと五島を訪ねて	富士山世界文化遺産協議会事務局	ii
	石井 則孝	iv

## 特集1 大和の世界遺産と遺跡

(趣旨)

(挨拶)

### □特別講演

世界遺産と遺跡

世界文化遺産薬師寺について

### □報 告

奈良県の世界遺産について

世界文化遺産法隆寺について

世界遺産『古都奈良の文化財』について

紀伊山地の霊場と参詣道について

「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」世界遺産登録に向けた取り組み

(討論記録) 大和の世界遺産と遺跡

青木 達司	1
.....	2
岡田 保良	6
山田 法胤	12
森本 理	20
大野 玄妙	26
山口 勇	32
福井 良盟	38
山田 隆文	44
鎌野 和己	48

## 特集2 「遺跡学」とは何か

(趣旨)

日本遺跡学会の10年－設立／大会／『遺跡学研究』－

(運営委員会座談会) 日本遺跡学会の現状と課題

### □論考－I 「遺跡学」と文化財

遺跡と遺跡学－意味を求めるることと語ること－

歴史的建造物の保護と遺跡学への期待

「遺跡社会学」の可能性

### □論考－II 「遺跡学」の声

遺跡学と考古学－日本遺跡学会の10年を振り返って－

遺跡学の学際的研究

保存科学からみた遺跡の保存・活用

遺跡整備を通して考える遺跡学

遺跡を遺したのは誰か？我々は何を保存すべきか？

遺跡学と文化財保護

「遺跡学」再考

平澤 肇	67
平澤 肇	68
.....	96
増渕 徹	114
亀井 伸雄	118
山 泰幸	126
黒崎 直	134
田中 哲雄	138
澤田 正昭	150
吉岡 泰英	158
畠 宏明	162
杉原 和雄	168
岡村 勝行	174

## 研究論文

農業に関する文化的景観保護の脅威と将来像

－世界遺産登録地域における国際機関と締約国の認識－

菊地 淑人 179

## 遺跡の現場から

筑波大学における世界遺産教育の現状と将来	吉田 正人	192
平泉の世界遺産登録、その前後	佐藤 嘉広	198
百舌鳥・古市古墳群の取り組み－世界文化遺産登録に向けて－	三木 弘・十河 良和	202
「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の包括的保存管理計画について	盛本 熱	206
市民公募で歴史的資産をリスト化－京都を彩る建物や庭園制度	中島 吾郎	210

## 学界・行政情報

第37回世界遺産委員会（ノンペニ）報告－条約採択50年に向けた新たな一歩－	菊地 淑人	216
IFLA Japan・国際ランドスケープアーキテクト連盟日本の活動	高野 文彰	224
東日本大震災における埋蔵文化財の対応 －福島県広野町桜田IV遺跡における保存・活用事例の紹介－		
近江 俊秀・鈴木 恵・西戸 純一・長島 雄一・山本 誠・渡辺 丈彦		228
『発掘調査のてびき』の完結と埋蔵文化財保護行政	櫛宜田佳男	232
平成24年度の史跡等の整備について	内田 和伸・中井 將胤・阿部 慎	236

## 研究余録

荒磯模した庭園、荒野のような人工磯～石材をめぐるこぼれ話～	大平 和弘	66
書評「入門パブリック・アーケオロジー」松田陽・岡村勝行著	中西裕見子	178
都市における文化財保護と建築家	前川 歩	191
石切丁場の歴史的経緯－近世初期から近代まで－	高田 祐一	243
入会のご案内／日本遺跡学会会則／大会等開催実績		244
投稿規定		248
既刊号の有料頒布について		250
広告		260
編集後記		268